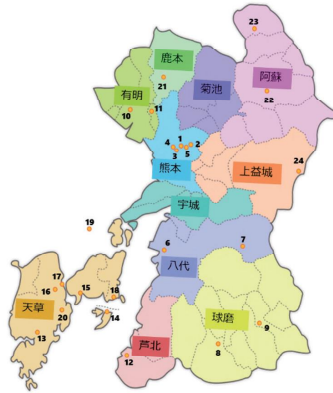


熊本大学総合診療専門研修プログラム

<プログラムの概要・特徴>

熊本大学大学院を中心として、熊本県内全域に広がる様々な医療施設の協力のもと、オール熊本として、総合診療専門医の育成に取り組むプログラムである。研修施設には、大学病院や地域中核病院に加え、小規模病院や診療所等も含まれ、県庁所在地である熊本市内のみならず、県内の各二次医療圏に研修施設がある。県内全域に広がる多くの施設がプログラムに参加することにより、異なる特性を持つ施設で、その地域に根付いた研修を行う事ができ、本人の希望に応じた研修が可能となっている。また熊本県出身の自治医科大学卒業生や、熊本県修学資金貸与の熊本大学卒業生(地域枠入学者を含む)の義務償還対象となる施設のほとんどを含み、総合診療専門医としてのキャリア形成支援に寄与することも目指している。



<研修の目標>

将来、総合診療専門医として活躍するための基礎としての臨床能力や問題解決能力を身につけることだけでなく、地域医療に貢献するマインドと全人的、心理・社会的、患者中心、家族志向アプローチに加え、地域での臨床実践に基づいたリサーチマインドを持った医師養成を目指している。また、医学教育者や研究者に必要な指導能力やリーダーシップに加え、将来、自身で学習を続ける能力の修得も求めている。

その上で、熊本県内の各地域で活躍する総合診療専門医の継続的な育成と育成の場の拡充を目指し、高齢化社会の中での地域包括ケアシステムの中で、県民の健康増進、維持に貢献できる人材を育成する。

総合診療専門研修の研修修了後の成果である以下の7つの資質・能力の獲得を目標とする。

1. 包括的統合アプローチ
2. 一般的な健康問題に対する診療能力
3. 患者中心の医療・ケア
4. 連携重視のマネジメント
5. 地域包括ケアを含む地域志向アプローチ
6. 公益に資する職業規範
7. 多様な診療の場に対応する能力

<研修の方略>

▶ プログラムのスケジュール

プログラムは原則として3年間で、自分のキャリアに合わせて自由に調整可能です。

総合診療研修	I (診療所・中小病院)	6ヶ月以上
	II (病院総合診療部門)	6ヶ月以上
必要領域別研修	内科	12ヶ月以上
	小児科	3ヶ月以上
	救急科	3ヶ月以上
選択研修	整形外科、皮膚科、精神科、etc...	希望に応じて

▶ 研修期間を通じて行なわれる勉強会・カンファレンス等の教育の機会

- ・熊本大学病院と各施設を専用回線によるテレビ会議システムでのカンファレンス
- ・レジデントデイ：到達度の把握、経験省察研修録(ポートフォリオ)作成指導など
- ・総合診療関連の各種セミナー:学外からの講師の招聘
- ・熊本大学病院でのリサーチミーティング



熊本大学病院で「熊本臨床研究ワークショップ」の様子

<研修の評価>

研修手帳を用い、その記録と自己評価、定期的な指導医との振り返りセッション、実際の業務に基づいた評価(Workplace-based assessment)や多職種による360度評価による評価を行う。経験した症例や事例の評価は、研修手帳の個々の経験目標のチェックリストに加え、経験省察研修録(ポートフォリオ)作成と発表、内科ローテート研修では、経験症例を日本内科学会が運営するJ-OSRERにて登録と評価を行う。

研修の修了判定は、1)定められたローテート研修を全て履修していること、2)専攻医の自己評価と省察の記録、経験省察研修録の作成を通じて、総合診療専門医として身につけるべき資質・能力(コンピテンシー)を獲得していること、3)研修手帳に記録された経験目標が全てカリキュラムに定められた基準に到達していることの以上の3点について、プログラム管理委員会の修了判定会議において合議により審査し、全てを満たした場合を修了と判定する。